

P058

多職種協働・チーム医療1

6月21日(土)14:30-15:30

ポスター会場1

座長：堀 夏樹 (NTT東日本関東病院)

- P058-1 当院における多職種での論文抄読会の現状と課題 388
角甲 純 (国立がん研究センター東病院)
- P058-2 「チーム医療と信念対立解明アプローチ」～Uプロセスを用いた解明ワークショップの取り組み～ 388
清水 広久 (埼玉成恵会病院 外科)
- P058-3 緩和ケアチームと精神科リエゾン緩和チームの協働によるがん患者の家族ケア 388
大谷 恭平 (西神戸医療センター 精神・神経科)
- P058-4 緩和ケアチームの働きかけの意味を言語化する
ー認知行動療法の対象認識把握技術を心理士の間接介入にいかすー 388
五十嵐 友里 (埼玉医科大学 総合医療センター 緩和ケアチーム)
- P058-5 多職種デスカンファレンスが医療者間のコミュニケーションに及ぼす影響
～デスカンファレンスは、スタッフのコミュニケーションを深める～ 389
武田 ひろみ (名古屋市立西部医療センター 看護部)
- P058-6 周術期チームによるがんトータルケアへの取り組み 389
西谷 友美 (一般財団法人 大阪警察病院)
- P058-7 急性期病院におけるエンド・オブ・ライフケアの取り組み (第1報)
～院内全職員を対象とした研修会の実施とアンケート調査の報告～ 389
池本 和博 (市立池田病院)
- P058-8 急性期病院におけるエンドオブライフケアへの取り組み (第2報)
～整形外科病棟看護師を対象に日々のケアの振り返りを行うことで変化した視点～ 389
稲野 聖子 (市立池田病院)
- P058-9 看取り対応のできる地域スタッフ養成プロジェクト 390
小澤 竹俊 (めぐみ在宅クリニック)
- P058-10 がん化学療法を受ける患者と家族に対する抗がん剤の副作用に関する情報提供のための冊子作成とその評価 390
内田 まやこ (九州大学病院 薬剤部)

P059

多職種協働・チーム医療2

6月21日(土)14:30-15:30

ポスター会場1

座長：小池 和彦 (東札幌病院)

- P059-1 これって皮下注射で使えますか?～院内皮下注射マニュアルを作成して～ 390
小林 頼子 (愛知県厚生農業協同組合連合会 安城更生病院 緩和ケア内科)
- P059-2 食欲不振対応食「パール食」を活かすための医療者及び患者へのアプローチ
～パール食ってこんな食事です～ 390
菅野 真美 (近畿大学医学部附属病院 栄養部)
- P059-3 メサドン導入に際しての緩和ケアチームの関わりと今後の課題 391
鈴木 和香子 (山梨大学医学部附属病院 医療チームセンター)
- P059-4 オピオイド回診導入による効果の検討と課題 391
鈴木 聡子 (秋田厚生連 由利組合総合病院)
- P059-5 緩和ケアチームにおけるソーシャルワーカーと退院調整看護師の支援内容の検討 391
長崎 理恵子 (聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院 総合相談部)
- P059-6 小型シリンジポンプ (TE-361) 固定器具の商品化をめざして 391
黒川 大樹 (小牧市民病院 臨床工学科)
- P059-7 緩和ケアチームカンファレンスシートの改訂に関する評価 392
梯 紋子 (聖マリアンナ医科大学病院 腫瘍センター 緩和医療部会)
- P059-8 よりよい終末期の療養の場の選択のために～多職種協働による進行再発乳がんカンファレンスの試み～ 392
俵矢 香苗 (横浜栄共済病院 緩和ケアチーム)

P059-9	地域がん診療連携拠点病院での肺癌患者におけるリハビリテーションの現状と課題 392 木下 明敏 (長崎県島原病院 内科)
P059-10	“地域で看取る” ために病院ができること 392 高瀬 由佳 (東名厚木病院 看護部)

PO60
多職種協働・チーム医療3

6月21日(土)14:30-15:30
ポスター会場1

座長：竹迫 秀和 (社会医療法人博愛会 相良病院)

P060-1	コンフォート指示 (症状緩和に関わる包括的臨時指示) の有効性に関する報告 393 大橋 純子 (医療法人徳洲会名古屋徳洲会総合病院)
P060-2	がん連絡シートの導入でみえてくるもの 393 神田 尚代 (公立玉名中央病院 緩和ケア委員会 症状緩和ケアチーム)
P060-3	一般病院と保険薬局との連携についての一考察～化学療法による副作用マネジメントについて～ 393 町田 由枝 (社会医療法人財団大和会 東大和病院)
P060-4	STAS-Jを用いた当院緩和ケアチーム活動の検討 393 平川 麻美 (聖マリアンナ医科大学病院 腫瘍センター 緩和医療部会)
P060-5	骨転移がん患者ボード (CB) による骨転移の運動器マネジメント —整形外科の役割と潜在的要対応骨転移症例の存在— 394 澤田 良子 (東京大学 整形外科)
P060-6	外来のがん患者・家族へのインフォームド・コンセントの実態調査 394 下部 佳美 (大分大学 医学部 附属病院)
P060-7	外来におけるオピオイド初回導入患者への介入の現状と課題—緩和ケアチームによるサポートの検討— 394 成松 恵 (兵庫県立加古川医療センター 緩和ケアチーム)
P060-8	骨転移手術における骨転移がん患者ボード介入の効果 394 篠田 裕介 (東京大学医学部附属病院整形外科)
P060-9	外来がん患者へのインフォームド・コンセントにおける医師と看護師の協働の実態 395 小畑 絹代 (大分県立病院)
P060-10	当院外科病棟看護師の緩和ケアにおける現状と今後の課題 395 松岡 綾美 (社会福祉法人 恩賜財団 済生会川内病院 緩和ケアチーム)

PO61
多職種協働・チーム医療4

6月21日(土)14:30-15:30
ポスター会場1

座長：池垣 淳一 (兵庫県立がんセンター)

P061-1	STAS-J導入による開設初年度緩和ケア病棟看護師の困難感の変化 —医療者間の協力・連携に焦点をあてて— 395 原田 美雪 (公益財団法人 倉敷中央病院)
P061-2	デスクカンファレンスの意義を考える 395 岡田 美千子 (亀井病院 看護部)
P061-3	急性期病院で行った多職種デスクカンファレンスの意義 396 小川 佐知子 (山口県立病院機構 山口県立総合医療センター 看護部)
P061-4	患者と医療者との関係の変化が緩和治療に効果的であった一例 396 根東 順子 (九州中央病院 外科)
P061-5	子宮頸癌末期、50歳代女性の初ウエディングドレス ～緩和ケア病棟で、妻として・母として最期まで生きる～ 396 東谷 成晃 (社会医療法人共愛会 戸畑リハビリテーション病院 リハビリテーション科)
P061-6	「せめて最期まで視力を残してあげたい」と願った患者家族の希望を叶えるために行った 高精度放射線治療の事例 396 長谷川 多恵 (医療法人 新明会 都島放射線科クリニック)
P061-7	下咽頭がんの治療経過中に亜昏迷や強迫など多彩な精神症状を呈し、関わりが困難であった1例 397 鈴木 歩 (関西医科大学 精神神経科学教室)

P061-8	乳癌多発骨転移による在宅移行が困難であった症例に対しての緩和ケアチームを含めた多職種アプローチの成果	397
	奥苑 宏平 (東京都立 墨東病院 看護部 11A病棟)	
P061-9	患者参加型による多職種合同カンファレンスにより治療方針を決定した1症例	397
	平嶋 志穂 (昭和大学 薬剤部)	

**P062
多職種協働・チーム医療5**

6月21日(土)14:30-15:30
ポスター会場1

座長：木村 理恵子 (慶応義塾大学病院)

P062-1	終末期患者の外出支援体制について～ある末期がん患者の最期となる30分の外出を支援した経験から～	397
	大瀬 律子 (社会福祉法人太陽会 安房地域医療センター)	
P062-2	急性期病院におけるエンドオブライフケアへの取り組み	398
	川添 律子 (市立池田病院)	
P062-3	慢性血液透析中の終末期がん患者に対する緩和ケアチーム介入の課題について	398
	上元 洵子 (聖隷浜松病院 緩和医療科)	
P062-4	スピリチュアルペインへの固執と、医療への否認的応答に苦慮した転移性脳腫瘍症例へのチームアプローチ	398
	柴田 冬樹 (社会医療法人 栄光会 栄光病院 ホスピス)	
P062-5	不安の強い患者に対し麻酔、精神的支援を行い放射線治療を施行できた一例	398
	黒川 裕子 (筑波大学附属病院 麻酔科)	
P062-6	終末期がん患者の在宅療養移行における多職種連携を高めるチームマネジメントの検討	399
	馬場 玲子 (筑波大学附属病院緩和ケアセンター)	
P062-7	終末期患者の希望を支えた外出支援—他職種との連携と家族、友人の支えで希望が実現した一事例—	399
	佐伯 幸恵 (石川県立中央病院 看護部)	
P062-8	全人的苦痛の対応に苦慮した胆嚢がん腹膜播種の一事例 ～緩和ケアチームと病棟との連携により在宅に移行できた経験～	399
	増田 栄 (千葉県立佐原病院 緩和ケアチーム)	
P062-9	独居利用者の在宅療養生活を支える～退院後社会資源を再調整した1症例～	399
	森谷 和代 (テイク・ケア訪問看護ステーション)	

**P063
多職種協働・チーム医療6**

6月21日(土)14:30-15:30
ポスター会場1

座長：藤原 由佳 (神戸大学医学部附属病院)

P063-1	患者と家族の希望する療養環境を目指して 多職種協働により地域連携を強化した事例を振り返る	400
	亀島 美保 (社会保険久留米第一病院)	
P063-2	食道皮膚瘻から気管孔への流入のある患者の食への援助～皮膚瘻のパウチングを試みて～	400
	關口 麻奈美 (公益財団法人筑波メディカルセンター 筑波メディカルセンター病院 看護部)	
P063-3	緩和ケアチームの介入により就労継続ができた胃がん患者の1例	400
	渡邊 尚美 (労働者健康福祉機構 中部ろうさい病院)	
P063-4	脳悪性リンパ腫全脳照射後の活動性向上を目指した作業療法の取り組み	400
	島田 妙子 (鶴友会 鶴田病院 緩和ケア病棟)	
P063-5	希望する自宅で最期の時間を過ごす事ができた終末期癌患者への支援 ～多職種介入で在宅看取りが行えた事例を通して～	401
	渡嘉敷 のぞみ (社会医療法人 敬愛会 中頭病院)	
P063-6	院内の緩和ケアチームと在宅サービス (訪問看護、居宅介護事業所、ディサービス) との「連携」にて、 在宅緩和ケアが継続され、QOLの向上ができた進行乳がん患者の一事例	401
	山崎 美恵 (社会医療法人 恵佑会 訪問看護ステーション恵佑会)	
P063-7	急性期病院の多職種介入による緩和ケアの取り組みと今後の課題	401
	前川 妃史 (独立行政法人 労働者健康福祉機構 長崎労災病院 看護部)	

P063-8	転移性骨腫瘍症例に関するカンファレンスをきっかけに自宅退院に至った一症例 401 武田 彩 (総合南東北病院 リハビリテーションセンター)
P063-9	末期がん患者と家族の在宅看取りの意思決定を支援した3事例 402 廣澤 智恵 (江戸川病院 看護部 腫瘍血液内科病棟)

P064

看取りの前後のケア1

6月21日(土)14:30-15:30

ポスター会場1

座長：小田切 拓也 (聖隷三方原病院)

P064-1	看取りの看護を充実させるために～ターミナル期チェックリストを使用して～ 402 久野 みゆき (西脇市立西脇病院 緩和ケアチーム)
P064-2	エンゼルケアマニュアル定着にむけての教育の効果と今後の課題 402 石田 克子 (福井赤十字病院 看護部 緩和ケアリンクナース委員会)
P064-3	エンゼルケア標準化に向けた取り組み 402 上杉 宣江 (がん研有明病院 緩和ケア専門看護委員会)
P064-4	高度救命センター病棟のデスカンファレンス導入で得られた病棟看護師の心理的变化 403 田端 真央 (前橋赤十字病院 救命センター病棟)
P064-5	遺族の視点から臨終前後の患者と家族の看取りのケアの質を評価する尺度の開発と信頼性・妥当性の検証 403 菅野 雄介 (東北大学大学院 医学系研究科 保健学専攻 緩和ケア看護学分野)
P064-6	医療者から受けた看取りのケアの実践と遺族の望ましい看取りの達成との関連要因の探索 403 菅野 雄介 (東北大学大学院 医学系研究科 保健学専攻 緩和ケア看護学分野)
P064-7	看取りのケアのクリニカルパスLiverpool Care Pathway (LCP) の英国での動向： Independent Review発表後の医療者のLCPに対するコメントに関する文献レビュー 403 菅野 雄介 (東北大学大学院 医学系研究科 保健学専攻 緩和ケア看護学分野)
P064-8	演題取り下げ
P064-9	エンゼルケアへの家族参加を促進させる因子 404 横山 貴子 (広島赤十字・原爆病院)
P064-10	緩和ケア病棟におけるLiverpool care pathway (LCP) 試験導入と看取りの意識調査 404 小出 真由美 (札幌清田病院 緩和ケア病棟)

P065


看取りの前後のケア2

6月21日(土)14:30-15:30

ポスター会場1

座長：堺 千代 (大分ゆふみ病院)

P065-1	予後告知がされていない血液がん患者の看取りにおける困難感 404 三浦 純子 (市立伊丹病院 看護部)
P065-2	エンゼルケアに対する看護師の意識調査と今後の課題 405 小山 香織 (医療法人社団シマダ嶋田病院緩和ケア病棟)
P065-3	緩和ケア病棟におけるLCPの使用経験－看護師による有用性の評価－ 405 葛巻 和歌子 (盛岡赤十字病院 緩和ケア病棟)
P065-4	緩和ケア病棟におけるLiverpool Care Pathwayの使用経験 －バス目標達成状況とLCP未導入となった事例の検討－ 405 丸一 美穂 (盛岡赤十字病院 緩和ケア病棟)
P065-5	なぜするのか？ (一般病棟におけるデスカンファレンス) 405 原 敬 (さいたま赤十字病院 緩和ケア診療科 緩和ケアチーム)
P065-6	リバプール・ケア・パスウェイ (LCP) を使いやすくするための工夫 406 村上 真基 (新生病院 緩和ケア科)
P065-7	終末期にある壮年期男性患者の希望を支えるケアの考察 406 米丸 順子 (一般社団法人 藤元メディカルシステム 藤元総合病院)

 マークは優秀演題です。

P065-8	最期の場所とは～患者・家族の思いに寄り添う～ 富満 裕美子（社会医療法人同仁会 耳原総合病院 緩和ケア病棟）	406
P065-9	「大学病院で治療したい」と切望した患者への関わり ～デスカンファレンスを通して患者の苦しみとその援助を考える～ 本多 昌子（渋川総合病院 緩和ケアチーム）	406
P065-10	在宅での看取りに関する家族への意思決定支援を行った1例 廣田 紘子（独立行政法人 国立病院機構 大分医療センター）	407

**PO66
看護介入1**

6月21日(土)14:30-15:30

ポスター会場1

座長：高橋 美賀子（聖路加国際病院）

P066-1	放射線治療による副作用対策シート使用後の看護師の行動変化 川上 泉（独立行政法人 国立病院機構 東広島医療センター）	407
P066-2	入院中にオピオイドを初回導入したがん患者への看護師による指導と疼痛アセスメントの現状および 今後の課題 柿本 久美子（兵庫県立 加古川医療センター）	407
P066-3	当院における緩和ケア介入活動状況と今後の課題 梶原 真由美（公立八女総合病院 緩和ケアチーム）	407
P066-4	外来でのがん看護相談開設による効果と今後の課題 山岸 美紀（市立長浜病院）	408
P066-5	一般病棟看護師が緩和ケアを必要としている患者との関わりに困難だと感じていること ～緩和リンクナースとしての今後の課題～ 神村 早紀（前橋赤十字病院 9号病棟）	408
P066-6	乳がん患者への『つらさと支障の寒暖計』を用いたつらさの内容の分析 田尻 幸子（独立行政法人 国立病院機構 米子医療センター）	408
P066-7	口唇炎がある終末期高齢者への馬油を取り入れたケアの効果 大塩 瑞穂（公益財団法人 ライフ・エクステンション研究所 付属 永寿総合病院 看護部）	408
P066-8	がん患者の性別による外来受診時の家族の同席・家族への意思伝達の違い 石徹白 しのぶ（和歌山県立医科大学附属病院）	409
P066-9	終末期がん患者の呼吸困難に対する送風の支援の有効性についてのケースシリーズ研究 角甲 純（国立がん研究センター東病院 看護部）	409

**PO67
看護介入2**

6月21日(土)14:30-15:30

ポスター会場1

座長：番匠 千佳子（聖隷浜松病院）

P067-1	がん患者にバウムテストを用いた面談の効果に関する先行研究 温井 由美（和歌山県立医科大学附属病院）	409
P067-2	患者にとってのSTAS-Jを用いた看護の有用性 益田 純子（独立行政法人 国立病院機構 刀根山病院）	409
P067-3	化学療法のため入院している血液疾患患者の思い 内村 恵里子（石川県立中央病院）	410
P067-4	A病院、緩和ケアセンター入棟時の患者・家族を理解するための看護師の着眼点 尾関 美代子（名古屋第一赤十字病院 緩和ケアセンター）	410
P067-5	褥瘡を発生した肺がん患者の特徴 阿島 弘子（がん・感染症センター都立駒込病院 看護部）	410
P067-6	演題取り下げ	
P067-7	がん性創傷を有する乳がん患者のケア～がん化学療法を受けセルフケアを支えた一例～ 菊池 恵美（医療法人 東札幌病院 西棟外科病棟）	411

 マークは優秀演題です。

- PO67-8 **がん患者とのケアリング・パートナーシップの過程を振り返る**
 ～マーガレット・ニューマンの健康の理論を用いて～ 411
 藤本 順子（公立大学法人福島県立医科大学附属病院 看護部 緩和ケアチーム専従看護師）
- PO67-9 **本人の希望に添った看護介入を振り返る～最期まで本人らしさを維持するために～** 411
 目差 由香里（社会医療法人 敬愛会 中頭病院 呼吸器病棟）

PO68
薬剤師・薬学的介入、ソーシャルワーク

6月21日(土)14:30-15:30
 ポスター会場1

座長：伊勢 雄也（日本医科大学付属病院）

- PO68-1 **薬剤師主導オピオイド回診の有用性の検討** 411
 高屋敷 奈々（磐田市立総合病院 緩和ケアチーム）
- PO68-2 **外来患者への新規オピオイド導入時の服薬指導の現状と課題** 412
 石川 明子（箕面市立病院 薬剤部）
- PO68-3 **外来患者におけるオピオイド鎮痛薬導入に対する薬剤師介入による効果** 412
 山田 正実（社会福祉法人恩賜財団大阪府済生会野江病院 薬剤科）
- PO68-4 **レスキュー・ドーズに関する患者の理解と服薬状況の調査** 412
 佐藤 和文（岩手県立胆沢病院）
- PO68-5 **当院でのオピオイド使用動向** 412
 嶋崎 裕子（隠岐広域連立立隠岐島前病院）
- PO68-6 **訪問看護師からみた在宅における医療用麻薬の持続注射の管理上の課題** 413
 平野 和恵（一般社団法人南区医師会 南区医師会訪問看護ステーション）
- PO68-7 **緩和ケア病棟入棟時に患者が抱える心理社会的課題にむけたMSWの対応** 413
 春日 みゆき（島根大学医学部附属病院 地域医療連携センター）
- PO68-8 **終末期がん患者の介護保険の現状と課題** 413
 東村 悦子（誠心会 井上病院 医療ソーシャルワーカー）
- PO68-9 **退院支援中に起きた患者と医療者の葛藤に介入したMSWの役割** 413
 及川 佑介（砂川市立病院 地域医療連携室）

PO69
リハビリテーション1

6月21日(土)14:30-15:30
 ポスター会場1

座長：渡辺 昭彦（札幌医科大学）

- PO69-1 **急性期病院におけるがんリハビリテーション介入状況と今後の課題**
 ～介入前後のBarthel index評価の比較による検討～ 414
 堀田 美幸（独立行政法人 国立病院機構 長崎医療センター 看護師）
- PO69-2 **当院におけるがんリハビリテーションの現状～開始が遅れる原因を探す～** 414
 松本 和美（熊本赤十字病院 がんリハチーム作業部会）
- PO69-3 **国立がん研究センター東病院、緩和ケア病棟におけるリハビリテーションの現状と課題** 414
 上野 順也（国立がん研究センター東病院 骨軟部腫瘍・リハビリテーション科）
- PO69-4 **区西部緩和ケア推進事業 サポートケア部門「地域におけるがんのリハビリテーション推進に向けて」の取り組み** 414
 工藤 由紀（訪問看護ステーション 国立メディカルケア）
- PO69-5 **在宅リハビリテーションで、「車椅子への思い」の変化の中で希望を繋いだ一症例** 415
 工藤 由紀（訪問看護ステーション 国立メディカルケア）
- PO69-6 **当院における血液がん患者に対する作業療法～作業療法プログラムとADLに着目して～** 415
 池知 良昭（香川県立中央病院 リハビリテーション部 作業療法科）
- PO69-7 **がん患者のストレス抑制に対する運動療法効果－唾液アミラーゼ活性による客観的評価－** 415
 井上 順一郎（神戸大学医学部附属病院 リハビリテーション部）
- PO69-8 **当院でリハビリテーションを実施し終了時の転帰が死亡であった患者の特徴** 415
 高橋 晴美（東北大学病院）





★マークは優秀演題です。

P069-9	当院緩和ケア病棟における肺がん患者のリハビリテーション介入時の希望について	416
	古野 史子 (市立芦屋病院 リハビリテーション科)	

**P070
リハビリテーション2**

6月21日(土)14:30-15:30
ポスター会場1

座長：安部 能成 (千葉県立保健医療大学)


P070-1	 癌治療症例のリハビリテーション効果と栄養状態について ーPerformance Statusの変化と血清アルブミン値ー	416
	三浦 季余美 (順天堂大学 医学部附属 順天堂病院 リハビリテーション室)	
P070-2	 高齢化率の高い地域におけるがん患者リハビリテーションの有用性 ー急性期病院消化器外科病棟での取り組みを通してー	416
	斉藤 友子 (国家公務員共済組合連合会 呉共済病院)	
P070-3	当院の緩和医療チームにおける理学療法士の関わり	416
	三枝 英治 (国家公務員共済組合連合会 虎の門病院 リハビリテーション部)	
P070-4	当院緩和ケア病棟におけるリハビリテーション科職員の現状と課題 ～「緩和ケアに関する医療者の知識・態度・困難感尺度」を用いて～	417
	伊藤 美希 (医療法人社団曙会 シムラ病院 診療技術部 リハビリテーション科)	
P070-5	 緩和ケア病棟に入院した患者のADLとQOLの経時的変化に関する調査	417
	早乙女 貴子 (独立行政法人 国立精神神経医療研究センター病院 リハビリテーション科)	
P070-6	かんわ支援チームにおけるリハビリテーションスタッフの役割	417
	春山 滋里 (前橋赤十字病院 リハビリテーション科)	
P070-7	 終末期がん患者に対する早期リハビリテーション介入はADL維持に貢献する可能性がある	417
	近藤 心 (徳島大学病院 リハビリテーション部)	
P070-8	当院緩和病棟におけるリハビリテーションの現状	418
	松井 孝至 (栃木県立がんセンター 緩和医療部)	
P070-9	当院緩和ケア病棟におけるリハビリテーションの現状と課題	418
	河野 詩織 (医療法人 若葉会 近藤内科病院 リハビリテーション科)	

**P071
リハビリテーション3**

6月21日(土)14:30-15:30
ポスター会場1

座長：田口 奈津子 (千葉大学医学部附属病院)

P071-1	放射線化学療法が適応となるがん患者のQOLの低下に関連する要因の検討	418
	石井 瞬 (長崎大学病院 リハビリテーション部)	
P071-2	終末期がん患者に対するリハビリテーションの目標設定に関する意識調査 (職種間のリハビリテーションに対する認識の相違について)	418
	松本 浩司 (医療法人薫風会 佐野病院 リハビリテーション科)	
P071-3	演題取り下げ	
P071-4	終末期がん患者における身辺動作能力の男女差の特徴について	419
	岡本 奈々 (社会医療法人社団カレスサポロ 時計台記念病院 リハビリテーション部 理学療法科)	
P071-5	終末期がん患者の客観的QOLの変化とADL自立度の関係について	419
	渡邊 真樹 (社会医療法人社団 カレスサポロ 時計台記念病院 作業療法科)	
P071-6	リハビリテーション介入時期が終末期がん患者に与える影響	419
	伊藤 隆信 (東大阪市立総合病院 リハビリテーション科)	
P071-7	骨転移の調査とリハビリテーション	420
	川崎 秀樹 (亀井病院 リハビリテーション部)	
P071-8	緩和ケア病棟におけるリハビリテーション実施患者の行動範囲に関する考察	420
	宮崎 祐太 (社会医療法人社団カレスサポロ 時計台記念病院 作業療法科)	
P071-9	当院緩和ケア病棟におけるリハビリテーション実施の現状と課題	420
	松原 朗 (札幌共立五輪橋病院 リハビリテーション科)	

 マークは優秀演題です。

P071-10	当院における終末期がん患者に対するリハビリテーションの現状 黒川 勝（石川県立中央病院 緩和ケア内科）	420
---------	--	-----

**P072
リハビリテーション4**

6月21日(土)14:30-15:30
ポスター会場1

座長：佐藤 恭子（昭和大学病院）

P072-1	膝がん腰椎骨転移により両下肢不全麻痺を呈すも自宅退院した一例 ー緩和ケアチーム理学療法士としての介入ー 倉坪 亮太（神奈川県警友会 けいゆう病院 リハビリテーション科）	421
P072-2	終末期癌患者が抱えるトータルペインに対する訪問理学療法の効果の検討 田中 武志（日野病院組合 訪問看護ステーションすまいる）	421
P072-3	乳癌脊椎転移患者に対する育児を含む日常生活動作指導 加藤 智美（順天堂大学 医学部附属 順天堂医院 リハビリテーション室）	421
P072-4	終末期がん患者における作業療法介入の実施状況～転移性脊椎腫瘍を伴ったがん患者5症例を通して～ 長井 野衣（国際医療福祉大学三田病院 リハビリテーション室）	421
P072-5	入院化学療法実施中の患者へのリハビリテーション～クールごとに目標達成を行った1例～ 三田 隆之（福山市民病院 医療技術部 リハビリテーション科）	422
P072-6	対麻痺発症から1年後に歩行が可能となった直腸癌胸椎転移症例 ー訪問リハビリテーションとの連携の重要性ー 北原 エリ子（順天堂大学 医学部 附属順天堂医院 リハビリテーション室）	422
P072-7	約束の積み重ねから生まれた行動変容～スケジュール管理を通して得られた精神的安定～ 高田 尚美（市立砺波総合病院）	422
P072-8	がん患者の家族関係修復にリハビリテーションが寄与した1例 大内 仁志（西脇市立西脇病院 緩和ケアチーム）	422

**P073
リハビリテーション5**

6月21日(土)14:30-15:30
ポスター会場1

座長：山下 和海（医療法人 原土井病院）

P073-1	自己決定の支援により、希望を生み出し、目標が達成できた骨転移による完全対麻痺の一症例 田中 創（地方独立行政法人 加古川市民病院機構 加古川西市民病院）	423
P073-2	娘へのプレゼント作りを通して母親としての役割を再獲得した一症例 福士 由佳（岩手県立大船渡病院 リハビリテーション科）	423
P073-3	胆管癌再発患者の腰背部痛に対するリハビリテーションの効果について 塚原 薫（社会医療法人 山弘会 上山病院 緩和ケアチーム）	423
P073-4	終末期の軟部肉腫症例に生じた下肢リンパ浮腫に対する症状緩和 池田 聖児（大阪府立病院機構 大阪府立成人病センター リハビリテーション科）	423
P073-5	トータルペインに対するリハビリテーションアプローチ～緩和リハビリテーションにできること（意義） 吉本 慎（国立病院機構 東京医療センター 緩和ケアチーム）	424
P073-6	終末期に患者さんのニーズを重視したリハビリテーションを実施した一例 藤野 文崇（地方独立行政法人 りんくう総合医療センター）	424
P073-7	外来リハビリテーションの継続が果たす役割ー母親としての時間を重視すること希望した事例を通してー 國澤 洋介（埼玉医科大学総合医療センター 緩和ケアチーム）	424
P073-8	SRE（骨関連事象）症例に離床を行い、疼痛・予後予測・精神医学的評価を経時的に評価しえた一例 井口 暁洋（昭和大学横浜市北部病院リハビリテーション室）	424
P073-9	癌終末期患者に作業療法介入した結果トータルペインの軽減が図れた1事例 小野寺 智和（砂川市立病院 リハビリテーション部）	425

座長：山田 岳史（日本医科大学付属病院）

P074-1	緩和ケア病棟食事対応チーム立ち上げ後の現状と今後の課題	425
	清松 美枝子（大分市医師会立アルメイダ病院 栄養管理室）	
P074-2	急性期病院における終末期がん患者の栄養管理についての検討	425
	山根 泰子（地方独立行政法人 大阪府立病院機構 大阪府立急性期・総合医療センター NST）	
P074-3	当院緩和ケア病棟における終末期輸液の使用状況	425
	柴田 佳代（山鹿市民医療センター）	
P074-4	人生の統合とは？アルバム作りを通して人生を統合された45歳女性の1事例～臨床心理士の立場から～	426
	永石 尋幹（出水郡医師会 広域医療センター 心理サポート室）	
P074-5	当医療団におけるチャプレン介入の実態調査	426
	宮川 裕美子（日本バプテスト連盟医療団 牧師室）	
P074-6	複合型サービスにおける緩和ケア	426
	愛甲 大介（医療法人 矢津内科消化器科クリニック）	
P074-7	介護支援専門員の終末期がん患者とその家族への介護保険外サービスの支援について	426
	田中 嘉章（ふくしま緩和ケア支援事業所）	

座長：森 一郎（ガラシア病院）

P075-1	葉状腫瘍摘出後の右骨盤転移による右大腿部の癌性疼痛および腹部膨満感に対する鍼治療の一例	427
	横西 望（明治国際医療大学 鍼灸学部 鍼灸学科 基礎鍼灸学講座）	
P075-2	一般病棟での「癒しの空間」～季節の病棟行事～	427
	佐藤 忍（湘南藤沢徳洲会病院）	
P075-3	緩和ケア病棟に於けるハーブセラピー（療法音楽）の活動報告	427
	真鍋 敦子（慶應義塾大学 大学院健康マネジメント研究科）	
P075-4	緩和ケア病棟におけるアロママッサージの活動報告	427
	池田 緑（医療法人 清和会 長田病院）	
P075-5	急性期病院における緩和ケアの充実を目指して～音楽療法の導入～	428
	中村 裕美子（医療法人 東和会 第一東和会病院 リハビリテーション室 音楽療法士）	
P075-6	ドッグセラピーが終末期がん患者に与える影響	428
	松浦 良江（独立行政法人国立病院機構岩国医療センター）	
P075-7	緩和ケア病棟患者へのバラ芳香剤「さ姫 [®] 」によるアロマセラピー効果の検討	428
	今岡 恵美（島根大学医学部附属病院 看護部）	
P075-8	子宮体癌術後の萎縮性膣炎に対し紫雲膏が有効であった1例	428
	糸賀 知子（越谷市立病院）	
P075-9	終末期肺癌患者の在宅医療において、不定愁訴に対して鍼治療による患者と家族の身体的、精神的負担の軽減が得られた1症例	429
	竹林 智彦（医療法人 社団水生会 SHS鍼灸院）	
P075-10	がん性疼痛を有する患者のQOLを向上させる緩和ケアチームの取り組み～キセノン光線療法が有用であった1症例～	429
	林 亜紀（独立行政法人国立病院機構 刀根山病院 緩和ケアチーム）	
P075-11	膀胱腫瘍摘出後に発症した左下肢痛に対する鍼治療の一例	429
	篠原 昭二（明治国際医療大学 鍼灸学部 鍼灸学科 基礎鍼灸学講座）	
P075-12	一般総合病院の緩和ケア病棟でアニマルセラピーを行うために～アニマルセラピー開催のための実施マニュアル作成～	429
	伊藤 浩明（地方独立行政法人岐阜県立多治見病院 緩和ケア内科）	

座長：井上 聡（聖隷三方原病院）

P076-1	三つの入院形式と救急対応を特徴とする緩和ケア病棟運営の検証 430 佐藤 健（国立病院機構豊橋医療センター 外科）
P076-2	当院の緩和ケア病棟で行われているデスカンファレンスの実態調査 430 木村 芳子（国立がん研究センター東病院 看護部）
P076-3	「ホスピストライアングル」を軸とした当医療団の緩和ケア 430 山極 哲也（日本バプテスト病院ホスピス）
P076-4	演題取り下げ
P076-5	緩和ケア病棟における食事サービスの取り組みについて 431 後 沙苗（京都医療センター 栄養管理室）
P076-6	開設初年度の緩和ケア病棟の状況と問題点 431 白木 照夫（国立病院機構岩国医療センター 緩和ケア）
P076-7	緩和ケア病棟入院患者における外泊の現状と今後の課題 431 菊川 栄子（藤田保健衛生大学七栗サナトリウム看護部）
P076-8	緩和ケア病棟の新病院への移転・入院患者移送の経験 431 太田 周平（神奈川県立がんセンター 緩和ケア内科）
P076-9	診療科主治医体制による緩和ケア病棟の開設 432 平石 禎子（東京通信病院 麻酔科）
P076-10	急性期病院における緩和ケア病棟開設の影響 432 江口 由紀（東住吉森本病院 緩和ケア病棟）

座長：荒木 貢士（福岡県済生会飯塚嘉穂病院）

P077-1	緩和ケア病棟から在宅療養へ移行した患者・家族の思いの変化について —緩和ケア病棟入院前後における在宅療養への思いとSTAS評価の変化— 432 伊藤 浩明（地方独立行政法人岐阜県立多治見病院）
P077-2	当院の緩和ケア病床と緩和ケアチーム患者における終末期管理の比較 432 栗原 二葉（山形大学医学部附属病院 麻酔科）
P077-3	緩和ケア病棟の開設後の地域における緩和ケアの普及への課題 433 石橋 あかね（医療法人 清和会 長田病院）
P077-4	当院の緩和ケアシステムの展開と緩和ケア病棟入院患者のアウトカム 433 村井 美代（藤田保健衛生大学 医学部 外科・緩和医療学講座）
P077-5	当院緩和ケア病棟における「緩和ケアとしての食事」のあり方と管理栄養士の関わり 433 下良 みのり（東住吉森本病院 栄養管理科）
P077-6	緩和ケア病棟の減少が地域に与える影響についての検討 433 飯田 邦夫（協立総合病院 緩和ケア診療部）
P077-7	在宅療養中の終末期悪性腫瘍患者が救急外来を受診する転帰に影響する因子の検討 434 赤司 雅子（JCHO東京新宿メディカルセンター）
P077-8	がん診療連携拠点病院におけるがん終末期患者の療養場所選択に対する支援 434 丸山 寛（公立八女総合病院 緩和ケアチーム）
P077-9	がんの病名告知及び予後告知に関する遺族へのアンケート調査 434 沖原 亜矢（独立行政法人国立病院機構 浜田医療センター 緩和ケア病棟）
P077-10	開設2年目の緩和ケア病棟（PCU）における多重悲嘆の複雑化予防への教育的ニーズの考察 —看護師の語りを通して— 434 高橋 里江（がん・感染症センター都立駒込病院看護部）

座長：中橋 恒（松山ペテル病院）

P078-1	Aホスピスの在院日数に関する基礎調査	435
	齊藤 英一（ピースハウス病院）	
P078-2	休日の勤務と休暇を組み合わせた緩和ケア医の勤務体制の試みとその意義	435
	原口 勝（社会医療法人 喜悦会 那珂川病院）	
P078-3	当院緩和ケア病棟における頭頸部癌患者症例	435
	後藤 義朗（札幌清田病院 緩和ケア内科）	
P078-4	緩和ケア病棟入院料改定前後での緩和ケア病棟の利用状況の変化	435
	佐藤 一樹（東北大学大学院医学系研究科緩和ケア看護学分野）	
P078-5	緩和ケア病棟において看護師が感じるやりがいとつらさ	436
	伊藤 悠子（医療法人 東札幌病院 東棟緩和ケア病棟）	
P078-6	臨死期における皮膚湿潤の出現状況と関連要因 —Liverpool Care Pathway日本語版を用いた前向き観察研究—	436
	柴原 弘明（JA愛知厚生連 豊田厚生病院 緩和ケア内科）	
P078-7	紹介患者中心型緩和ケア病院の現状と課題	436
	伊藤 彰博（藤田保健衛生大学 医学部 外科・緩和医療学講座）	
P078-8	患者による当院緩和ケア病棟の質の評価に関する調査～患者アンケートより～	436
	川田 里美（松江市立病院 緩和ケア病棟）	
P078-9	緩和ケア病棟の適正病床数の検討	437
	金子 和彦（岡谷市病院事業 岡谷塩嶺病院 緩和ケア病棟）	

座長：首藤 真理子（大分市医師会立アルメイダ病院）

P079-1	がん診療連携拠点病院の緩和ケア病棟における医療費の検討	437
	前田 隆司（がん・感染症センター 都立駒込病院 緩和ケア科）	
P079-2	緩和ケア病棟開設1年後の看護師の職務満足度の変化と取り組むべき課題	437
	下田 由紀子（JA 北海道厚生連 旭川厚生病院 緩和ケア病棟）	
P079-3	経験年数別に見た緩和ケア病棟看護師のストレスの現状	437
	湯川 綾子（医療法人 協和会 協和マリナホスピタル 緩和ケア病棟）	
P079-4	緩和ケア病棟でのウェディングパーティー～子宮頸癌末期の女性に看護師として援助～	438
	渡 由紀子（社会医療法人 共愛会 戸畑リハビリテーション病院 緩和ケア病棟）	
P079-5	身体的症状に軽減が自立意欲の向上とADL拡大に繋がった肺癌患者の一例	438
	山本 朱里（済生会松阪総合病院 緩和ケア病棟）	
P079-6	終末期にある患者の死に臨む準備をチームで支援するために～「死亡危急者遺言」を活用した1事例～	438
	本井 真樹（公益社団法人 京都民医連中央病院 緩和ケア病棟）	
P079-7	口腔ケアを通して経口摂取が可能となった緩和ケア病棟患者の1例	438
	清水 珠緒（済生会松阪総合病院 歯科口腔外科）	
P079-8	最期まで自分らしい日々を生きるため～私たちにできること～	439
	藤解 すみ子（社会福祉法人 恩賜財団 済生会松阪総合病院 緩和ケア病棟）	
P079-9	緩和ケア病棟での継続的なカウンセリングが有用であった肺癌患者の一例	439
	西條 美香（大阪府立呼吸器・アレルギー医療センター 緩和ケア科）	

座長：田巻 知宏（北海道大学病院）

PO80-1	大学病院における緩和ケア支援チームの活動の質評価～医師・看護師への質問紙調査より～ 馬越 雅理（東邦大学医療センター大森病院 緩和ケア支援チーム）	439
PO80-2	大学病院における緩和ケア支援チームの活動の質評価～患者・家族への質問紙調査より～ 馬越 雅理（東邦大学医療センター大森病院 緩和ケア支援チーム）	439
PO80-3	緩和ケアチームによるオピオイドラウンドの効果とその評価 松浦 智子（NTT東日本札幌病院 緩和ケアチーム）	440
PO80-4	緩和医療チーム活動の評価指標の検討 中崎 亜紀（昭和大学横浜市北部病院 看護部）	440
PO80-5	急性期病院の緩和ケア～看護師の意識調査から見た緩和ケアチーム・認定看護師の役割と今後の課題～ 神崎 美和（社会医療法人 景岳会 南大阪病院 緩和ケアチーム）	440
PO80-6	当院における緩和ケアチームの活動～患者アンケート調査結果から考察するこれからの活動について～ 二宮 由紀子（医療法人 明和病院 看護部）	440
PO80-7	コンサルテーション型緩和ケアチームの業務見直し 根本 洋（昭和大学 藤が丘病院 消化器・一般外科）	441
PO80-8	緩和ケアチーム回診から新たな取り組みへの一歩～3年間の依頼内容を比較して～ 宮崎 恵子（市立長浜病院 看護局）	441
PO80-9	キャンサーボードを活用した、緩和ケアチームへの依頼方法 ～早期からの緩和ケアの実現、顔の見えるPCTを目指して～ 松岡 弘子（和泉市立病院 緩和ケアチーム）	441
PO80-10	緩和ケアチームメンバーが認識する現在の活動状況と課題 志方 優子（パナソニック健康保険組合 松下記念病院）	441

座長：中澤 葉宇子（国立がん研究センター）

PO81-1	緩和ケアチームが抱える課題と取り組みを考える～第4回兵庫県緩和ケアチーム研修会の開催報告～ 梅田 節子（神戸市立医療センター中央市民病院）	442
PO81-2	急性期病院での緩和ケアの普及に関する報告 沼田 靖子（市立釧路総合病院）	442
PO81-3	急性期病院における緩和ケアコンサルテーションー依頼者の権限拡大による影響についてー 高橋 裕子（宮崎県立宮崎病院 看護部）	442
PO81-4	循環器病に特化した高度先進医療センターにおいて、新たに結成した多職種協働緩和ケアチームの活動 菅野 康夫（国立循環器病研究センター 心臓血管内科）	442
PO81-5	緩和ケアチームの活動に関連した緩和ケア病棟への移行支援の変化の分析 ～緩和ケア病棟開設2年目における緩和ケアチーム活動の評価～ 林 糸り子（一般財団法人同友会 藤沢湘南台病院）	443
PO81-6	当院におけるオピオイド鎮痛薬の処方動向と緩和ケアチームの関わり 打谷 和記（関西医科大学附属枚方病院 薬剤部）	443
PO81-7	当院における緩和ケアサポートチームの現状報告と今後の展望 水島 美由紀（新潟厚生連 柏崎総合医療センター 緩和ケアサポートチーム）	443
PO81-8	緩和ケアチームによるオピオイド使用入院患者を対象としたカルテ診の現状と課題 千葉 さおり（自治医科大学附属病院 看護部）	443
PO81-9	岐阜市民病院緩和ケアセンターの活動報告 石黒 崇（岐阜市民病院 緩和ケアチーム）	444
PO81-10	データベースを活用した緩和ケアチーム活動の評価 渡邊 裕之（社会医療法人生長会 ベルランド総合病院 薬剤部）	444

座長：樋口 比登美（昭和大学病院）

P082-1	当院における緩和ケアに対する医療者の意識調査（2006年の追跡研究） 渡邊 茂子（JR東京総合病院 緩和ケアチーム）	444
P082-2	急性期病院における緩和ケアチームの介入の必要性の検討 我妻 佐知子（仙台厚生病院 緩和ケアチーム）	444
P082-3	緩和ケア認定看護師によるラウンド活動の効果 川嶋 麻有（市立千歳市民病院 看護部）	445
P082-4	6年間の緩和ケアチーム活動を通して見えた当院の緩和ケアの動向 佐藤 薫（福島県立医科大学 麻酔科学講座）	445
P082-5	当院緩和ケアチームの『希望実現』へのアプローチ 市原 しのぶ（関西電力病院）	445
P082-6	緩和ケアチーム立ち上げ2年間での意識変化 平野 香（JA静岡厚生連清水厚生病院 緩和ケアチーム）	445
P082-7	当院緩和ケアチーム専従看護師の外来活動における部署異動の有用性 原垣内 里奈（県立広島病院 緩和ケアチーム）	446
P082-8	コンサルテーション型緩和ケアチームの疼痛治療成績の推移（第5報） 今井 視保子（名古屋第二赤十字病院 緩和ケアチーム）	446
P082-9	緩和ケアチームにおけるオピオイド回診の活動報告 柴田 麻由子（青森保健生活協同組合あおもり協立病院）	446
P082-10	地域がん診療連携拠点病院における緩和ケアチーム活動の問題点と今後の課題 斉藤 匡昭（仙北組合総合病院 緩和ケアチーム）	446

座長：田中 俊行（高崎総合医療センター）

P083-1	当院における緩和ケアチームでの臨床心理士の役割に関する意識調査 中島 文（JR東京総合病院）	447
P083-2	治療困難期においても緩和ケア病棟への移行が進まない要因 高橋 尚子（日本赤十字社医療センター 緩和ケア科）	447
P083-3	当院緩和ケアチームの活動状況と今後の課題 町支 秀樹（桑名東医療センター 外科）	447
P083-4	病棟スタッフを対象とした緩和ケアチームの病棟回診の効果 ～ひろい上げ型ではなく御用聞き的な病棟回診～ 西谷 葉子（京都第二赤十字病院 看護部）	447
P083-5	緩和ケアチーム体制や活動を見直していくことの意義～必要とされるチームであり続けるために～ 奥山 慎一郎（山形大学 医学部附属病院 疼痛緩和診療部）	448
P083-6	新規ROO製剤の勉強会に参加した看護師のレスキューについての認識 宮崎 百合（横浜市立みなと赤十字病院 緩和ケアチーム）	448
P083-7	緩和ケアチームの活動内容についての一考察 大西 真理（東大阪市立総合病院 看護部）	448
P083-8	常勤専門医不在の市中病院における緩和チーム回診 岡本 愛（医療法人 健生会 土庫病院）	448
P083-9	緩和ケアチーム活動における精神科医・心理士の介入とケア評価への影響 伊藤 香織（東京都立多摩総合医療センター 薬剤科 緩和ケアチーム）	449
P083-10	当院での緩和ケアチームの効果の検討 天野 晃滋（大阪市立総合医療センター 緩和医療科）	449

座長：中山 紀子（医療法人溪仁会 手稲溪仁会病院）

P084-1	急性期病院における持続皮下注射の実態調査報告と今後の課題 雨宮 裕美子（東京都立多摩総合医療センター）	449
P084-2	緩和ケア病棟が併設されている急性期病院における「緩和ケアチーム」の役割 ー緩和ケア病棟看護師のアンケート結果からー 安江 敦（名古屋掖済会病院 緩和ケアチーム）	449
P084-3	緩和ケア患者退院後の栄養士による介入継続の必要性についての検討 足立 和代（大分大学医学部附病院 臨床栄養管理室）	450
P084-4	当院緩和ケアチームの現状ー直接介入患者とコンサルテーション形式患者の比較ー 實森 直美（呉医療センター・中国がんセンター 緩和ケアチーム）	450
P084-5	当院緩和ケアチーム発足後のオピオイド製剤（内服・外用剤）の使用量実態調査 古川 将利（医療法人 沖縄徳洲会 千葉徳洲会病院 緩和ケアチーム）	450
P084-6	フェンタニル貼付剤を減量、離脱できた患者から見たこと～看護師の視点から～ 吉岡 めぐみ（佐賀大学 医学部附属病院 緩和ケア診療班）	450
P084-7	がん患者の疼痛治療におけるアセトアミノフェンの使用実態と緩和ケアチーム介入調査 村上 祥子（地方独立行政法人 山形県・酒田市病院機構 日本海総合病院 緩和ケアチーム）	451
P084-8	当院における経口・外用オピオイド使用実態調査 箕曲 真由美（国家公務員共済組合連合会 虎の門病院 薬剤部）	451
P084-9	緩和ケアチームの有効な活動が、がん拠点病院にもたらす変化に関する研究 金井 良晃（東京大学医学部附属病院 緩和ケア診療部）	451
P084-10	がん疼痛に対する持続皮下注射に関わる医師の実態調査 芝 祐信（東京都立多摩総合医療センター 緩和ケアチーム）	451

座長：田墨 恵子（大阪大学医学部附属病院）

P085-1	緩和ケアチームの早期介入と大腸ステント留置による閉塞症状緩和により 家族の病状経過の受容に寄与したと考えられた、超高齢者閉塞性直腸S状部癌の1例 津崎 龍一郎（新見中央病院 内科）	452
P085-2	肺癌再発患者の繰り返す肺炎に対して緩和ケアチームでサポートした1例 足立 洋心（松江医療センター 緩和ケアチーム）	452
P085-3	予後告知をしない患者に対するチームアプローチ 人見 由希子（石川県立中央病院 緩和ケアチーム）	452
P085-4	緩和ケアチームの介入により終末期に全人的苦痛の緩和が得られた、 検診発見若年者stage4胃がんの1例 山瀬 勝巳（KKR北陸病院）	452
P085-5	当院における緩和ケアチーム活動の課題 ～「最期までその人らしく生きる」を支えるために私たちができること～ 斉藤 優子（山形県立新庄病院 緩和ケアチーム）	453
P085-6	緩和ケアチームが機能するために果たす役割 ～がん終末期に身体拘束を回避できなかった症例を振り返る～ 中村 恵（公立豊岡病院組合立豊岡病院 緩和ケアチーム）	453
P085-7	緩和ケアチームが介入し、困難と思われた終末期患者の故郷への転院希望を支えた1症例 藤原 佳美（日本医科大学 武蔵小杉病院 緩和ケアチーム）	453
P085-8	病状認識の差により症状緩和に困難をきたした痔瘻癌合併クローン病患者への緩和ケア介入の一例 相川 りえ（特定医療法人社団高野会 高野病院 看護部）	453

P085-9	オピオイド初回導入患者における治療状況と最期の療養場所から見える緩和ケアチームとしての今後の課題について	454
	田中 祐子 (兵庫県立加古川医療センター 緩和ケアチーム)	

**P086
緩和ケア外来1**

6月21日(土)14:30-15:30
ポスター会場2


座長：岡田 雅邦 (おかだ内科クリニック)

P086-1	緩和ケア外来の果たす役割はどこまでだろうか？	454
	下山 理史 (愛知県がんセンター中央病院 緩和ケア科)	
P086-2	当院における緩和ケア外来の現況と課題	454
	塩原 正之 (千葉市立海浜病院 緩和ケアサポートチーム)	
P086-3	緩和ケア外来開設にむけて外来でがん治療を受ける患者アンケート結果から	454
	吉本 訓子 (医療法人徳洲会 岸和田徳洲会病院)	
P086-4	当院の緩和ケア科外来活動と今後の展望	455
	梅崎 利江子 (公立八女総合病院 看護部)	
P086-5	A病院の緩和ケア科外来初回受診患者のニーズの検討	455
	深田 陽子 (日本医科大学付属病院 緩和ケア科)	
P086-6	小規模山間地域病院の緩和ケア外来の役割	455
	黒木 嘉人 (国民健康保険 飛騨市民病院 緩和ケア外来)	
P086-7	当院緩和ケア外来における緩和ケアチームの果たす役割とは	455
	唐澤 由美 (独立行政法人国立病院機構まつもと医療センター 緩和ケアチーム)	
P086-8	当院緩和ケア外来受診患者の在宅療養における患者ニーズに合わせたケアの現状と課題	456
	中川 純子 (社会医療法人 愛仁会 高槻病院)	

**P087
緩和ケア外来2**

6月21日(土)14:30-15:30
ポスター会場2

座長：榎埜 良江 (広島大学病院)


P087-1	緩和ケア外来での在宅療養支援における多職種チーム医療の必要性	456
	奥村 佳美 (小牧市民病院 緩和ケアチーム)	
P087-2	緩和ケア科病床を持たない急性期病院における緩和ケア外来の現状と課題	456
	井上 智恵 (広島市立広島市民病院 緩和ケアチーム)	
P087-3	地域がん診療連携拠点病院における緩和ケア外来での支援内容についての検討	456
	渡邊 紘章 (小牧市民病院 緩和ケア科)	
P087-4	麻薬処方のない患者も含めた緩和ケア内科外来の評価方法(評価指標)についての考察 一看取りの場と地域連携の観点から	457
	李 美於 (神戸市立医療センター 中央市民病院 緩和ケア内科)	
P087-5	緩和ケア外来での療養場所選択に対する関わり	457
	大杉 智子 (啓愛会 孝仁病院)	
P087-6	化学療法後に緩和外来に紹介されたが、癌ではなかった1症例	457
	藤原 葉子 (勤医協中央病院 ホスピスケアセンター)	
P087-7	緩和ケア外来で麻薬の増量に抵抗感を示した患者についての考察	457
	武藤 純 (広島市立広島市民病院 緩和ケア科)	

**P088
在宅緩和ケア1**

6月21日(土)14:30-15:30
ポスター会場2

座長：宇野 さつき (新国内科医院)

P088-1	緩和ケアに関する知識、態度、困難感の評価尺度を用いた意識調査 ～自施設での在宅緩和ケアの現状と今後の課題～	458
	森谷 和代 (テイク・ケア訪問看護ステーション)	

 マークは優秀演題です。

P088-2	住み慣れた地域での終活を支援する泌尿器科癌終末期医療の取り組みについて	458
	石浦 嘉之 (富山労災病院 泌尿器科)	
P088-3	高岡医療圏における在宅緩和ケア地域連携パスIT化に対するアンケート調査結果	458
	澤田 幸一郎 (高岡医療圏在宅・緩和医療懇話会)	
P088-4	がん患者の在宅緩和ケアを推進していくために 第1回宝塚市在宅緩和ケア研修会報告	458
	日吉 理恵 (宝塚市立病院)	
P088-5	当院の在宅緩和ケアの取り組み	459
	渡辺 陽子 (尾道市立市民病院)	
P088-6	地域緩和医療の課題ー在宅療養困難要因と地域医療体制の検討ー	459
	渡部 芳紀 (三友堂病院 地域緩和ケアサポートセンター)	
P088-7	在宅緩和ケア患者における息子の役割	459
	日野 浩司 (東名厚木病院 外科)	
P088-8	地域がん診療連携拠点病院が行う在宅看取りへの取り組み ～地域との連携システムの構築と遺族の言葉からの満足度の評価～	459
	森 佳子 (砂川市立病院 地域医療連携室)	
P088-9	当院の在宅緩和ケア患者に発症した下気道感染症に対して、診断直後から セフトリアキソンナトリウム(CTRX)を3日間以上連日投与する治療法の有益性と問題点の検討	460
	佐藤 将之 (川崎市立井田病院 かわさき総合ケアセンター)	
P088-10	訪問看護師のがん患者終末期における鎮静についての認識調査	460
	横山 頼子 (済生会野江訪問看護ステーション)	

**P089
在宅緩和ケア2**

6月21日(土)14:30-15:30
ポスター会場2

座長：神谷 浩平 (山形県立中央病院)

P089-1	積極的治療が困難となったがん患者の在宅移行の実際	460
	家城 朋子 (峰和会鈴鹿回生病院)	
P089-2	がん終末期の在宅緩和ケアにおける、介護者の介護負担感と満足度の関連	460
	直木 陽子 (NHO近畿中央胸部疾患センター 内科)	
P089-3	独居終末期がん患者に対する訪問看護師の電話対応と緊急訪問の実態	461
	高野 唯 (ふくしま緩和ケア訪問看護ステーション)	
P089-4	当院における老衰症例の検討	461
	青木 茂 (坂の上ファミリークリニック)	
P089-5	当科における在宅緩和ケア	461
	緑川 靖彦 (呉羽総合病院 外科)	
P089-6	終末期の在宅療養者の家族は何をつらいと思っていたか？	461
	富峯 ゆかり (訪問看護ステーションすまゑと北支所)	
P089-7	非がん在宅患者のエンドオブライフケアにおける医師と訪問看護師の連携について	462
	齋藤 信也 (岡山大学 大学院 保健学研究科)	
P089-8	救急外来で看取りとなった肺がん症例の検討	462
	中島 治典 (大垣市立病院 呼吸器内科)	
P089-9	在宅ホスピス緩和ケアにおける短期間介入事例の検討	462
	渡辺 剛 (バプテスト在宅ホスピス緩和ケアクリニック)	
P089-10	一地域がん診療拠点病院である当院での医師の在宅医療意識調査	462
	木下 敏史 (独立行政法人 労働者健康福祉機構 香川労災病院 緩和ケア科)	
P089-11	がん終末期在宅療養の現状と課題	463
	佐藤 恭子 (昭和大学附属病院 リハビリテーション科)	

座長：日下部 明彦（みらい在宅クリニック）

- P090-1 訪問看護ステーションにおける悪性疾患患者の時間外電話相談の実態に関する調査 463
矢尾 知恵子（社会医療法人 河北医療財団 河北訪問看護・リハビリステーション阿佐谷）
- P090-2 在宅緩和ケアに不安をもつ訪問看護師との関わりを通して～緩和ケア認定看護師として今後の課題～ 463
安藤 和子（社会医療法人小寺会 ふれあい訪問看護センター）
- P090-3 在宅療養において、Tgグリップを用いた圧迫療法によるリンパ浮腫ケアを継続し、
QOLの向上ができた進行乳がん患者の一事例 463
小野寺 由香（社会医療法人 恵佑会札幌病院 看護部）
- P090-4 薬局薬剤師にできることを考えるーPCAポンプを使用して在宅疼痛管理を行った症例を通してー 464
炭 梨恵（有限会社メディカルブレーン わに薬局 南草津店）
- P090-5 在宅緩和ケアで大容量のモルヒネ塩酸塩を患者自己調節鎮痛法
(PCA;Patient controlled analgesia) にて使用した2事例 464
五十嵐 妙（埼玉県済生会川口総合病院 緩和ケアチーム）
- P090-6 終末期在宅療養がん患者に対し訪問リハビリテーションで成果を得た一例 464
柳本 智（医療法人社団 佳生会 野木病院 リハビリテーション科）
- P090-7 当院在宅医療でのがん終末期患者の独居在宅看取りの3例 464
村瀬 樹太郎（川崎市立井田病院 かわさき総合ケアセンター 緩和ケア内科）
- P090-8 当院での進行性前立腺癌における在宅緩和ケアの検討 465
鈴木 泰介（榛原総合病院 泌尿器科）
- P090-9 嫁として旅立つことを決意したがん終末期患者の在宅療養のコミットメントパワーを高める支援 465
笹尾 佐喜美（ひばり訪問看護ステーション）
- P090-10 がん看護専門看護師によるがん看護外来の効果
ースピリチュアルペインをもつ在宅療養中の終末期がん患者と家族への介入を通してー 465
岩井 美世子（愛知県がんセンター 中央病院）
- P090-11 在宅での看取りを希望した10代の非がん患者と家族に対し緩和ケアチームが介入した1例 465
石垣 美千留（静岡県立こども病院）

座長：岸田 さな江（獨協医科大学病院）

- P091-1 在宅緩和ケア移行のための課題～患者と家族、病棟スタッフの立場から考える～ 466
江口 由紀（医療法人橘会 東住吉森本病院 緩和ケアチーム）
- P091-2 在宅緩和ケアの導入率向上を目指した取り組み 466
川西 祥宏（公立南丹病院 緩和ケアチーム）
- P091-3 当院における終末期入院がん患者の在宅療養に向けた取り組み～地域で顔の見える関係を活かして～ 466
野中 泰幸（津山中央病院 緩和ケアチーム）
- P091-4 当院緩和ケア病棟における在宅移行の現状 466
橋本 勝利（藤田保健衛生大学七栗サナトリウム 看護部）
- P091-5 退院支援における多職種連携 467
中村 麻衣子（医療法人 慈生会 前原病院）
- P091-6 一般急性期病院での緩和ケアチーム立ち上げによる24時間電話対応在宅支援へのシームレスな移行 467
樫山 秀男（県立安芸津病院 緩和ケアチーム）
- P091-7 地域の急性期病院が取り組む担癌患者の退院調整の実態と課題 467
松岡 サチ子（西知多厚生組合 知多市民病院 退院支援室）
- P091-8 希望する療養場所を見据えた退院時支援の必要性 467
佐藤 浩二（前橋赤十字病院 かんわ支援チーム）

P091-9	緩和ケア病棟から自宅や施設に退院する患者の家族の意思決定要因	468
	戸田 絵美 (福井県済生会病院 緩和ケア病棟)	

P092
退院支援・退院調整2

6月21日(土)14:30-15:30
ポスター会場2

座長：田口 賀子 (地方独立行政法人大阪府立病院機構 大阪府立成人病センター)

P092-1	緩和ケアチーム介入患者の退院調整に関する検討	468
	桑島 規夫 (聖マリアンナ医科大学病院 腫瘍センター 緩和医療部)	
P092-2	人生の最後を迎える場、その意思決定の把握と実態の検討	468
	石田 順子 (東京慈恵会医科大学附属柏病院 看護部)	
P092-3	患者の希望に添った退院支援についての検証～急性期病院での実態調査～	468
	藤井 美砂 (済生会福岡総合病院緩和ケアチーム看護部)	
P092-4	一般病棟における在宅緩和移行時の効果的な退院指導方法の検討 ～介護者へのインタビューからニーズを知って～	469
	高島 留美 (富山県 済生会高岡病院)	
P092-5	急性期病院における退院支援推進の効果	469
	福本 和彦 (磐田市立総合病院 消化器外科)	
P092-6	終末期がん患者の在宅療養移行の実現要因の検討	469
	柳谷 利恵 (宮城大学 看護学部)	
P092-7	がん診療連携拠点病院における緩和ケア病棟での退院支援の現状と課題	469
	福島 大志 (山鹿市民医療センター 地域医療連携室)	
P092-8	終末期患者・家族の1事例を通して円滑な退院支援の要因を探る	470
	伊藤 薫 (社会医療法人敬愛会 中頭病院 消化器病棟)	
P092-9	急性期一般病院ギアチェンジ期がん患者の療養場所選択の現状	470
	荒井 奈保子 (社会医療法人河北医療財団 河北総合病院)	

P093
退院支援・退院調整3

6月21日(土)14:30-15:30
ポスター会場2

座長：久山 幸恵 (静岡県立静岡がんセンター)

P093-1	時期を逸さない退院調整により在宅での療養と看取りに家族が満足した1例	470
	有村 玉海 (兵庫県立淡路医療センター)	
P093-2	終末期がん患者の退院支援～在宅療養への希望を支援できた事例～	470
	熊谷 晴子 (市立 枚方市民病院)	
P093-3	多職種介入による退院支援～希望と現実にはらきが生じた事例を通して～	471
	比嘉 亜紀 (社会医療法人 敬愛会 中頭病院)	
P093-4	在宅緩和ケアに移行できた終末期肺癌患者の1事例～不安軽減のための妻への関わり～	471
	松尾 貴子 (独立行政法人国立病院機構長良医療センター 緩和ケアチーム)	
P093-5	舌癌臨死期患者・家族の在宅退院支援～希望を支えるために院内外スタッフが連携した事例～	471
	玉村 幸子 (社会医療法人 敬愛会 中頭病院 耳鼻科 眼科 整形外科病棟)	
P093-6	自宅退院に難色を示す家族への支援～「帰りたい」を叶えるために～	471
	松田 詳子 (市立岸和田市民病院 6階東病棟)	
P093-7	病名未告知のがん患者への退院支援における在宅看護専門看護師の倫理調整の実際	472
	野口 忍 (北摂総合病院訪問看護ステーション)	
P093-8	がん終末期患者の在宅移行の現状と緩和ケアチームのかかわり	472
	堀江 聖子 (一部事務組合 下北医療センター むつ総合病院 緩和ケアチーム)	
P093-9	緩和ケアチームの介入により、在宅療養が継続できた非がん性疼痛患者の1例 一病棟と在宅の24時間体制の取り組みを通して	472
	岡 賢美 (県立安芸津病院 緩和ケアチーム)	

- P093-10 終末期の血液疾患患者の在宅移行への看護支援—患者とその家族の思いを支えた一事例を「病みの軌跡理論」を用いて振り返る— …………… 472
 岩田 知子（愛知県がんセンター中央病院 看護部）

**P094
 緩和ケアにおける地域連携1**

6月21日(土)14:30-15:30
 ポスター会場2



座長：橋本 孝太郎（医療法人社団爽快会 ふくしま在宅緩和ケアクリニック）


- P094-1 新設ケアミックス病院における緩和照射の地域医療連携 …………… 473
 中村 里栄（すずかけセントラル病院 放射線治療センター）
- P094-2 地域の緩和ケア力を高める～在宅スタッフの緩和ケアスキル向上を目指した講習会を開催して～ …………… 473
 高橋 修（医療法人平和会 平和病院 緩和ケア科）
- P094-3 地域と連携した症例検討会を開催して …………… 473
 中満 順子（京都第一赤十字病院 看護部）
- P094-4 PCAポンプを使用した在宅疼痛緩和の連携システムの評価 …………… 473
 浦上 裕美（厚生連高岡病院 総合がん診療センター・緩和ケアチーム）
- P094-5 淡路島という地域の中で、当院における緩和ケアの症例を振り返る …………… 474
 橋本 芳正（医療法人いちえ会 洲本伊月病院 緩和ケア外科）
- P094-6 患者の変化に気づく連携へ
 ～組織的な取組みと医療従事者間の関係醸成による効果～ …………… 474
 塚本 美穂（公立学校共済組合 近畿中央病院 薬剤部）
- P094-7 市立伊丹病院の認定看護師による訪問同行の取組み …………… 474
 福井 幸代（市立伊丹病院 専門看護師・認定看護師連絡部会）
- P094-8 緩和病棟を持たない急性期病院での緩和受け入れの現状 …………… 474
 新保 和広（千葉県勤労者医療協会 船橋二和病院 外科）
- P094-9 「見える事例検討会[®]・緩和版」の開発とその地域・多職種連携についての評価 …………… 475
 齊藤 英一（ピースハウス病院）

**P095
 緩和ケアにおける地域連携2**

6月21日(土)14:30-15:30
 ポスター会場2

座長：山岡 憲夫（やまおか在宅クリニック）

- P095-1 福井県緩和医療研究会・福井県がん在宅緩和ケア推進検討会による
 「診療手帳ふくい 在宅緩和ケア 地域連携パス」の県内普及活動、第1報 …………… 475
 片山 寛次（福井大学腫瘍病態医療学）
- P095-2  滋賀県緩和ケア地域連携クリニカルパスの開発 …………… 475
 瀬戸山 博（独立行政法人 国立病院機構 東近江総合医療センター 外科）
- P095-3 医療者・介護者・福祉者のためのケア・カフェー「顔の見える関係」自体を創造する取組み— …………… 475
 阿部 泰之（旭川医科大学病院 緩和ケア診療部）
- P095-4 堺市在宅緩和ケア地域連携パスの運用について …………… 476
 金海 未希（地方独立行政法人 堺市立病院機構 市立堺病院 地域医療連携室）
- P095-5 緩和ケアチーム介入患者における在宅療養状況の変化と課題の検討 …………… 476
 土井 千春（済生会 横浜市南部病院 緩和医療科）
- P095-6 がん患者の薬薬連携を語ろう！
 ～“Face to Face” 保険薬局薬剤師・病院薬剤師合同ワークショップ開催報告～ …………… 476
 山中 祐治（JA三重県厚生連南島メディカルセンター）
- P095-7  緩和ケアチーム薬剤師が保険薬局へ提供する患者薬剤サマリーの意義
 —「緩和ケアチームが介入した患者さんに関する薬薬連携についてのアンケート」の結果から— …………… 476
 鷹野 理（社会福祉法人 三井記念病院 薬剤部）
- P095-8 急性期病院における地域連携の取組み～夕陽丘緩和ケア連絡会を設立して～ …………… 477
 岡嶋 洋子（大阪警察病院）


 マークは優秀演題です。

- P095-9 多職種デス・カンファレンスがシームレスな緩和ケアを可能にする！
～「ケア・カフェ」というツールを利用して～ 477
小林 頼子（愛知県厚生農業協同組合連合会安城更生病院 緩和ケア内科）

**P096
緩和ケアにおける地域連携3**

6月21日(土)14:30-15:30
ポスター会場2

座長：古口 契児（福山市民病院）

- P096-1 化学療法時における連携歯科医院との口腔機能管理システムの構築 477
中川 淳子（独立行政法人 労働者健康福祉機構 岡山労災病院）
- P096-2 下町浅草での取り組み～浅草かんわネットワークの活動について～ 477
安達 昌子（慶應義塾大学病院 緩和ケアセンター）
- P096-3 緩和ケア地域連携バスに関するアンケート調査～改訂に向けて～ 478
田中 美帆（大垣市民病院 看護部）
- P096-4  がん患者支援ネットワーク事業～がん医療・がん在宅医療ガイドブック〈福岡版〉を作成して～ 478
坂本 節子（九州大学病院 看護部）
- P096-5 地域連携を目的とした訪問看護師へのアプローチ～在宅緩和ケアにおける意見交換会を開催して～ 478
平野 千穂（公立大学法人 福島県立医科大学 会津医療センター 附属病院 緩和ケアセンター）
- P096-6 こんなに違う緩和ケア診療情報提供書：国内緩和ケア病棟の診療情報提供書の比較 478
大瀬 克広（社会医療法人聖医会 サザン・リージョン病院 緩和ケア）
- P096-7 これでいいのか？紹介状：必要とする情報内容についての紹介医との認識の差 479
土器屋 富美子（サザンリージョン病院）
- P096-8 病院および訪問看護事業所の看護師のエンド・オブ・ライフ・ケアに関する地域交流会開催のニーズ 479
相良 君映（救世軍清瀬病院 看護部 ホスピス緩和ケア病棟）
- P096-9 高岡医療圏における在宅緩和ケア地域連携バスの運用実績 479
澤田 幸一郎（富山県済生会高岡病院 外科）

※P096-6の発表は、6/20(金)14:00-15:00にP056-9のポスターパネルで行います。

**P097
緩和ケアにおける地域連携4**

6月21日(土)14:30-15:30
ポスター会場2

座長：細田 蓮子（愛知県がんセンター中央病院）

- P097-1 在宅移行におけるお薬手帳を用いた退院時情報提供ツールの検討～より良い地域連携を目指して～ 479
宮田 恵（東京女子医科大学 東医療センター 緩和ケアチーム）
- P097-2 外来から地域連携バスを適用して在宅緩和ケアへ移行する患者家族の安心感 480
坂下 美彦（千葉県がんセンター サポートケア室）
- P097-3 過去2年間ににおける呼吸器内科肺がん症例の緩和ケアに関する連携の現状 480
古郡 夏子（高知赤十字病院）
- P097-4 一般病院緩和ケアチームと障害者支援施設との連携への課題～施設での看取りを経験して～ 480
茶木 美智子（医療法人 愛晋会 中江病院）
- P097-5 緩和医療を適切に受けられるために必要な要因の検討
～当院へ緩和医療を目的で紹介された患者の分析から～ 480
照井 健（東札幌病院 内科）
- P097-6 小規模病院の一般病棟における緩和ケアの現状と課題 481
久野 寧子（薫風会 佐野病院 消化器センター）
- P097-7 大学病院と診療所の連携の問題点—大学病院の特殊性とは？ 481
木澤 義之（神戸大学 大学院 医学研究科 先端緩和医療学分野）
- P097-8 終末期における病状及び予後告知の現状と必要性 481
藤木 啓（医療法人社団誠和会 藤木病院）
- P097-9 A病院周辺の訪問看護ステーションにおける緩和ケアの提供状況と問題点 481
大橋 純子（医療法人徳洲会名古屋徳洲会総合病院）

 マークは優秀演題です。


座長：平方 眞（愛和病院）

- P098-1 **がん患者の在宅療養支援に認定看護師ができること～「今しか帰れない」を支える～** 482
太田 果苗（磐田市立総合病院 緩和ケアチーム）
- P098-2 **保険薬局薬剤師と連携し、在宅移行できたモルヒネ持続皮下注使用の2症例** 482
上島 聖秀（富山労災病院 がん治療サポートチーム）
- P098-3 **患者ごとに組織される「居住地域での在宅緩和ケアチーム」
～「在宅緩和ケアとちぎ」多職種間交流を背景に～** 482
粕田 晴之（栃木県立がんセンター 緩和医療部）
- P098-4 **地域医療連携室との連携で在宅療養を実現できた2症例** 482
飯田 祥男（そらちぶと調剤薬局）
- P098-5 **在宅医でフォロー中のがん患者に、医療連携によって内臓神経ブロック、
大量のオピオイド使用の調整を行った一例** 483
原田 紳介（神奈川県立がんセンター 緩和ケア内科）
- P098-6 **地域緩和ケアにおける病診連携・看護連携の工夫～「顔の見なくなる関係」づくりへの発展～** 483
湯川 弘美（市立三次中央病院 看護部）
- P098-7 **終末期の小児がん医療における、在宅医と病院の連携について～脳幹部神経膠腫の1男児例からの考察～** 483
楠木 重範（チャイルド・ケモ・クリニック）
- P098-8 **在宅緩和ケアに繋ぐために地域の抱える課題～新病院・緩和ケア病棟へ向けて～** 483
渡邊 哲也（知多市民病院 緩和ケアチーム）
- P098-9 **緩和ケア病棟でのメサドン導入から在宅療養まで、薬剤師が連携に関わることにより円滑な移行が実現できた
2症例** 484
佐藤 佳奈絵（国立がん研究センター 東病院 薬剤部）
- P098-10 **緩和ケアチームによる在宅医療の支援～代表的な3症例の報告より** 484
多田 幸雄（徳島県立中央病院 精神科）

座長：清水 わか子（君津中央病院）

- P099-1 **福井大学医学部附属病院における緩和ケアチーム専従医師配置前後の退院支援動向** 484
西本 武史（福井大学医学部附属病院 緩和ケアチーム）
- P099-2 **がん治療の早期から関わる緩和ケアをめざして～地域に根差したがんセンター設立後3年間～** 484
長谷川 喜一（和泉市立病院がんセンター・緩和ケア病棟）
- P099-3 **進行肺癌に対する呼吸器内科と緩和ケアチームの連携による取り組み** 485
土田 真樹子（東京都立墨東病院）
- P099-4 **早期からの緩和ケアを推進するための緩和ケアチーム活動
～がん薬物療法認定薬剤師の活動を振り返って～** 485
根田 光朗（盛岡赤十字病院 薬剤部）
- P099-5 **緩和ケア早期介入への取り組み～症状チェックシートの導入を試みて～** 485
高井 みゆき（独立行政法人国立病院機構函館病院 緩和ケアチーム 看護部）
- P099-6 **早期からの緩和ケアに向けた新たな取り組み：自発的緩和ケア回診を振り返る** 485
小泉 はるか（日本医科大学 千葉北総病院 緩和ケアチーム）
- P099-7 **看護外来における早期からの緩和ケアの実践** 486
伊藤 由美子（兵庫県立がんセンター 看護部）
- P099-8 **質問紙による院内苦痛スクリーニングの有用性と課題についての検討** 486
村路 留美子（小牧市民病院 がん性疼痛看護認定看護師）
- P099-9 **早期からの緩和ケアを実践するための院内スクリーニングラウンドの取り組み** 486
湯浅 幸代子（兵庫県立がんセンター 緩和ケアチーム）

座長：大塚 正友（近畿大学医学部堺病院）

- PO100-1 当法人における併診体制の検討とその意義 486
越智 拓良（医療法人聖愛会 松山ベテル病院 ホスピス）
- PO100-2 進行肺がん患者における早期からの緩和ケアチーム介入によるQuality of Life(QOL)改善についての研究最終報告と12週後の経過について 487
横山 太郎（横浜市立市民病院 緩和ケア内科）
- PO100-3 肺癌患者における支持・緩和療法チームの早期介入についての臨床的検討 487
金津 正樹（国立病院機構近畿中央胸部疾患センター 内科）
- PO100-4 化学療法室を利用する患者の声から緩和ケアチーム早期介入の検討 487
佐藤 友香（公立岩瀬病院 緩和ケアチーム）
- PO100-5 頭頸部がん領域における早期からの緩和ケア介入に関するアンケート調査 487
桑門 心（大阪医科大学附属病院 緩和ケアチーム）
- PO100-6 難治性血液腫瘍・成人T細胞白血病／リンパ腫患者に対する緩和ケア診療介入の効果～診断時からの緩和ケア介入による予後改善にむけて～ 488
松下 格司（鹿児島大学病院 緩和ケアチーム）
- PO100-7  がん診療連携拠点病院における「がん患者サロン」全国調査に関する報告 488
伊藤 正道（名古屋大学大学院 医学系研究科 看護学専攻 博士課程前期課程）
- PO100-8 臨床試験の説明後に緩和治療のみを選択し再び抗がん薬治療を選択した1例 488
柳原 一広（関西電力病院 腫瘍内科）


PO101

制度設計・政策、死生学、その他のチーム医療・緩和ケアデリバリー・概念

6月21日(土)14:30-15:30

ポスター会場2

座長：川島 正裕（市立岸和田市民病院）

- PO101-1  在宅医療サービスが提供された患者の医療費の分析～在宅ホスピスの医療費の実態～ 488
一戸 由美子（社会医療法人 河北医療財団 東京・杉並家庭医療学センター 診療部）
- PO101-2 在宅医の経験から考察した「医学モデル」から「生活モデル」への認識変容のトリガー 489
小室 貴之（特定非営利活動法人 楓の風）
- PO101-3 新設ケアミックス病院における緩和照射の院内医療連携 489
境野 晋二郎（すずかけセントラル病院 放射線治療センター）
- PO101-4 緩和ケア病床の開設とそこから見えてくる地域連携の問題点 489
坂本 雅樹（名古屋徳州会総合病院 外科 緩和ケア科）
- PO101-5 鳥取私立病院地域ケア病棟における非がん疾患の転帰について 489
足立 誠司（鳥取市立病院 総合診療科）
- PO101-6 当院緩和ケア病棟開設後の肺癌患者の転帰に関する検討 490
志津 匡人（地方独立行政法人 岐阜県立多治見病院 呼吸器内科）

PO102

小児・若年者の緩和ケア

6月21日(土)14:30-15:30

ポスター会場1

座長：太田 桂子（島根大学医学部附属病院）

- PO102-1 小児専門病院における緩和ケアサポートチームの実践～スタッフのグリーンカンファレンスにおける精神科医の役割～ 490
菊地 祐子（東京都立小児総合医療センター 緩和ケアサポートチーム）
- PO102-2 若年がん患者の心理社会的課題からみた相談支援センターの認知度について 490
大松 尚子（大阪市立大学 医学部 附属病院 がん相談支援センター）
- PO102-3 根治が難しい小児がん患児における化学療法の現状 490
杉下 美保子（名古屋大学 医学部附属病院 緩和ケアチーム）

PO102-4	幼い子供を残して逝く30代女性がん患者の在宅療養の問題点 藤春 千恵美 (医療法人矢津消化器内科クリニック)	491
PO102-5	小児がん診療スタッフと他の小児疾患診療スタッフにおける緩和ケアに関するイメージの比較 ～アンケート調査報告～ 湯坐 有希 (東京都立小児総合医療センター 緩和ケアサポートチーム)	491
PO102-6	小児がんのターミナルケアに影響を与える医療者の価値観—デスカンファレンス記録の分析より— 菊地 三枝子 (千葉大学 医学部附属病院)	491
PO102-7	当院における小児血液・がん患者に対するオピオイドの使用状況についての検討 秋山 康介 (昭和大学 藤が丘病院 小児科)	491
PO102-8	20代の悪性リンパ腫患者との関わり～知的障がいのある患者が、初回入院を継続できた一例～ 今出 政代 (香川大学 医学部 附属病院 看護部)	492
PO102-9	疾患特性と家族背景のため終末期医療の方針作成に苦慮した18トリソミー 5歳女兒の一例 赤塚 早紀 (東京都立小児総合医療センター 総合診療科)	492
PO102-10	原疾患不明の重症進行性神経疾患に対する小児高次医療機関での緩和ケアの問題点 北見 欣一 (東京都立小児総合医療センター 総合診療科)	492
PO102-11	大学受験を控えた若年患者の長期入院・治療を医学生による家庭教師体制を構築しサポートした一症例 栗原 二葉 (山形大学医学部附属病院 疼痛緩和内科)	492

**PO103
高齢者の緩和ケア**

6月21日(土)14:30-15:30
ポスター会場1

座長：橋口 さおり (慶應義塾大学病院)

PO103-1	療養型病棟において胃瘻造設する患者の代理意思決定プロセスと支援 中田 美都里 (社会医療法人 康和会 札幌しらかば台病院)	493
PO103-2	非癌高齢者終末期における皮下輸液下での予後の検討 津島 久孝 (京都民医連中央病院)	493
PO103-3	介護付有料老人ホームにおけるエンドオブライフケアの特徴 根岸 恵 (聖隷横浜病院 緩和ケアチーム)	493
PO103-4	医療者が捉える高齢慢性疾患患者の望ましいエンド・オブ・ライフ (終末期) ケアに関わる要因 増島 麻里子 (千葉大学大学院 看護学研究科)	493
PO103-5	超高齢癌患者に対する緩和外科治療の経験 荒能 義彦 (KKR 北陸病院)	494
PO103-6	患者・家族の要望に応え、様々な場所で最期を迎える事ができた100歳4名の看取り 前田 香代子 (医療法人若葉会 グループホームわかば)	494

**PO104
非がん患者の緩和ケア(呼吸器疾患、心疾患)**

6月21日(土)14:30-15:30
ポスター会場1

座長：矢津 剛 (矢津内科消化器科クリニック)

PO104-1	国立循環器病研究センターでの医師アンケート結果から見えてきた、 循環器緩和ケアの現状と取り組むべき問題点 柴田 龍宏 (国立循環器病研究センター 心臓血管内科)	494
PO104-2	循環器専門病院における緩和ケア勉強会の取り組みと今後の課題 村田 千恵 (兵庫県立姫路循環器病センター看護部)	494
PO104-3	当院の非がん慢性肺疾患患者における緩和医療の現状 三枝 美香 (静岡県立総合病院 呼吸器内科)	495
PO104-4	呼吸器悪性腫瘍と非癌疾患の心肺蘇生不要指示の比較 南 誠剛 (大阪警察病院)	495
PO104-5	特発性肺線維症終末期呼吸困難に対する塩酸モルヒネ持続注入の有用性の検討 松田 能宣 (国立病院機構 近畿中央胸部疾患センター 心療内科)	495

★マークは優秀演題です。

PO104-6	市中肺炎におけるLiving Willの有無に関する要因の検討 長谷川 貴昭 (岐阜市民病院 呼吸器・腫瘍内科)	495
PO104-7	呼吸器専門病院における、非がん呼吸器疾患に対するオピオイド使用の現状 嶋田 和貴 (地方独立行政法人 大阪府立病院機構 大阪府立呼吸器・アレルギー医療センター 緩和ケア科)	496
PO104-8	呼吸困難の緩和を目的にモルヒネを投与した非がん疾患の小児・若年成人例 天野 功二 (静岡県立こども病院 緩和ケアチーム)	496
PO104-9	COPD終末期患者に対する経口モルヒネの使用経験 石樽 裕之 (要町病院 薬剤部)	496
PO104-10	慢性心不全患者の急性増悪から終末期の看護援助における看護師の不全感 宮澤 千佳 (公立富岡総合病院)	496
PO104-11	退院後、心肺停止により終末期に陥った慢性心不全患者の家族に対するグリーフケア ～心不全の病みの軌跡から見たグリーフケアのあり方を考える～ 高田 弥寿子 (国立循環器病研究センター)	497

PO105

非がん患者(神経疾患、腎疾患、他)、集中治療での緩和ケア

6月21日(土)14:30-15:30

ポスター会場1

座長：鄭 陽 (東京都立駒込病院)

PO105-1	神経・筋疾患専門病院における緩和ケア認定看護師の役割 花井 亜紀子 (国立精神・神経医療研究センター 看護部)	497
PO105-2	緩和ケア住宅における神経難病患者の看護介護連携体制と課題 杉本 しずよ (医療法人 矢津内科消化器科クリニック)	497
PO105-3	終末期ALS患者の身の置き所のなさが示す状態とその要因 新井 玉南 (東京都立神経病院)	497
PO105-4	SEIQoL-DWを利用した筋萎縮性側索硬化症患者へのリハビリテーション ～バックバルブマスクを用いた呼吸理学療法が有効であった症例～ 寄本 恵輔 (国立精神・神経医療研究センター)	498
PO105-5	非がん患者への緩和ケアを考える～当院PCT活動から見えてくる課題～ 中安 千佳子 (社会福祉法人 函館厚生院 函館五稜郭病院)	498
PO105-6	緩和ケアチームに介入を依頼された非がん患者の検討 若山 尚士 (名古屋第二赤十字病院 緩和ケアチーム)	498
☆ PO105-7	がん患者だけでなく救急外来CPA患者にもグリーフケアを～当院グリーフケアチームの関わり～ 渡辺 啓太郎 (岡山赤十字病院 緩和ケア科)	498
PO105-8	ネーザルハイフローを用いて終末期患者の呼吸苦を緩和できた1例 津村 八江 (住友病院 麻酔科)	499

PO106

その他の特定集団に対する緩和ケア

6月21日(土)14:30-15:30

ポスター会場1

座長：小原 弘之 (県立広島病院)

PO106-1	地域医療再生計画によるデイホスピス事業の総括 片山 泰代 (医療法人 矢津内科消化器科クリニック)	499
PO106-2	甲状腺専門病院での緩和ケアの取り組み 鈴木 章史 (伊藤病院 外科)	499
PO106-3	慢性透析患者における緩和医療の経験 羽井佐 実 (川崎医科大学附属川崎病院総合外科)	499
PO106-4	緩和ケア病棟(PCU)における統合失調症を背景に持つ患者の緩和ケアについて ～精神科閉鎖病棟に転棟した症例を経験して～ 小高 ふみ ((公財)東京都保健医療公社豊島病院 緩和ケア内科)	500
PO106-5	維持透析を受けている末期がん患者の在宅看取り3事例から見えてくる、 「がん末期透析患者の療養の場」についての考察 廣橋 猛 (三井記念病院 緩和ケア科)	500

☆マークは優秀演題です。

PO106-6	血液悪性腫瘍患者に対する緩和ケア 500 伊藤 怜子 (日本パプテスト病院 ホスピス)
PO106-7	医師が医師を看取る時～アンケート調査から見てきたもの～ 500 高藤 早苗 (社会医療法人財団董仙会 恵寿総合病院 緩和ケア科)
PO106-8	東日本大震災の被災沿岸地域の医療者へのインタビュー調査に基づく災害時における がん患者の緩和ケア・在宅医療の在り方に関する研究 501 菅野 喜久子 (東北大学大学院医学系研究科保健学専攻緩和ケア看護学分野)
PO106-9	緩和ケア病棟に於ける前立腺癌患者100例に対するケアの検討 501 佐藤 健 (国立病院機構豊橋医療センター 外科)

**PO107
卒前教育、教育方法**

6月21日(土)14:30-15:30
ポスター会場2

座長：清水 佐智子 (鹿児島大学医学部)

PO107-1	臨老式死生観尺度を使用した臨床実習を終えたりハビリテーション学生の死生観に関する意識調査 501 田中 成和 (独立行政法人 国立病院機構 長崎病院)
PO107-2	薬学生に対する緩和医療卒前教育への取り組み (第3報) ～実務実習における経験と講義受講前後における死生観に関する意識変化の解析～ 501 杉浦 宗敏 (東京薬科大学薬学部医薬品安全管理学)
PO107-3	医学部生はがん患者とその家族の苦痛をどのようにとらえているか？ ～高知大学医学部卒前教育の結果分析～ 502 掛田 恭子 (高知大学 医学部 神経精神科学教室)
PO107-4	看護学科1年生の死生観と死に関する体験との関連 502 杉村 鮎美 (岐阜大学医学部看護学科)
PO107-5	看護学科1年生の死に関する教育の受講体験と緩和・終末期ケアへの関心との関連 502 杉村 鮎美 (岐阜大学医学部看護学科)
PO107-6	山形県地域がん診療連携拠点病院で開催したELNEC-Jコアカリキュラム看護師教育プログラムの 評価と継続していくための課題 502 遠藤 俊子 (公立置賜総合病院 緩和ケアチーム)
PO107-7	学校教育におけるいのちをテーマにした授業の効果について ～ホスピスとお医者さんのお茶っから喪失に対するグリーフケアを考える～ 503 大井 裕子 (聖ヨハネ会桜町病院 聖ヨハネホスピス)
PO107-8	職種によるPEACE研修会受講効果の比較 503 藤松 義人 (鳥取県立中央病院 がん相談支援室)
PO107-9	一般病棟から緩和ケア病棟に配属となった看護師が感じる戸惑い 503 菊池 美香 (盛岡赤十字病院 緩和ケア病棟)

**PO108
卒後教育**

6月21日(土)14:30-15:30
ポスター会場2

座長：三宅 智 (東京医科歯科大学大学院)

PO108-1	在宅終末期リハにおける療法士の葛藤について～研修会アンケート調査から～ 503 桑山 浩明 (医療法人財団 樹徳会 上ヶ原病院 リハビリテーション室)
PO108-2	がん患者を親に持つ子どもへのグリーフケアにかかわる看護師のための教材開発 504 小島 ひで子 (北里大学看護学部)
PO108-3	看護師に対するELNEC-Jコアカリキュラム看護師教育プログラムの有効性の検証： ★ Wait list controlによる無作為化比較試験 504 新幡 智子 (筑波大学大学院人間総合科学研究科)
PO108-4	初期臨床研修医の終末期ケア態度の変化-FATCOD-From B-Jによる短期緩和ケア研修前後の比較検討- 504 駒田 雄一 (名古屋掖済会病院 小児科)
PO108-5	緩和ケア医を志す若手医師が感じる研修・自己研鑽のニーズと改善策：全国大規模調査 504 ★ 森 雅紀 (聖隷浜松病院 緩和医療科)

★マークは優秀演題です。

PO108-6	初期研修医の緩和ケアに対する知識調査	505
	山川 雅子 (昭和大学横浜市北部病院 緩和医療科)	
PO108-7	質の高いグリーフケアを推進する人材育成を目指したがん看護インテンシブコースの取り組みと評価	505
	高山 良子 (神戸市看護大学)	
PO108-8	質の高い在宅緩和ケアを推進する人材育成を目指したがん看護インテンシブコースの取り組みと評価	505
	高山 良子 (神戸市看護大学)	
PO108-9	北陸がんプロ福井大学「在宅緩和医療(医師・スタッフ)養成コース」による在宅医療者養成の試み	505
	片山 寛次 (福井大学 腫瘍病態治療学 講座)	

**PO109
施設内教育1**

6月21日(土)14:30-15:30
ポスター会場2

座長: 中村 喜美子 (三重大学医学部附属病院)

PO109-1	新規フェンタニル速報性製剤導入におけるA病院緩和ケアチームの取り組み	506
	山口 かおり (地方独立行政法人 神奈川県立病院機構 神奈川県立循環器呼吸器病センター)	
PO109-2	頭頸部がん一般病棟看護師の終末期がん患者ケアに対する困難感	506
	清水 知美 (社会医療法人 恵佑会札幌病院 看護部)	
PO109-3	看護師・薬剤師合同によるオンコロジー研修会の効果	506
	吉住 智奈美 (兵庫県立尼崎病院 看護部)	
PO109-4	大学病院でのがん医療における緩和医療に関する医療者の意識調査	506
	竹中 元康 (岐阜大学大学院医学系研究科 麻酔疼痛制御学)	
PO109-5	他院緩和ケア医との協働による緩和ケア研修会の評価と今後の課題	507
	鶴見 紘子 (総合病院 伊達赤十字病院)	
PO109-6	地域と共に考えた口腔ケアへの取り組み～体験型研修会を実施して～	507
	橋本 みさ子 (高砂市民病院 緩和ケア病棟)	
PO109-7	がん看護専門看護師・認定看護師によるスタッフ教育 第1報-緩和ケア病棟半年間の歩み-	507
	成清 優子 (医療法人清和会 長田病院)	
PO109-8	新人職員への緩和ケア教育への取り組み～死の疑似体験を取り入れた効果～	507
	吉田 真砂子 (JA長野厚生連篠ノ井総合病院)	
PO109-9	緩和ケアをつなぐリンクナース育成のために	508
	北爪 ひかり (前橋赤十字病院 かんわ支援チーム)	
PO109-10	緩和ケアリンクナースによるエンゼルケア研修会の成果	508
	小笠原 麻紀 (高知大学医学部附属病院 緩和ケアチーム)	

**PO110
施設内教育2**

6月21日(土)14:30-15:30
ポスター会場2

座長: 長澤 昌子 (岩手医科大学附属病院)

PO110-1	「急性期混合病棟における緩和ケア」～看護師の意識調査から～	508
	黒澤 喜美子 (秩父市立病院)	
PO110-2	PCAポンプ簡易マニュアル作成による操作時の問題解決	508
	平林 克博 (安曇野赤十字病院 薬剤部)	
PO110-3	フェンタニル貼付剤に関するインシデント内容の考察	509
	松本 智里 (上尾中央医科グループ 八潮中央総合病院 薬剤部)	
PO110-4	緩和ケア研修会を修了した医師の増加に伴い、施設内で緩和ケア医が行なう診療行為の内容は変化する	509
	齋藤 義之 (新潟県立がんセンター新潟病院 緩和ケア科)	
PO110-5	認定看護師・専門看護師が病棟在籍し活動する事で同僚看護師の緩和ケアに対する困難感の変化	509
	宮本 真紀 (熊本大学医学部附属病院)	
PO110-6	早期から緩和ケアの普及にむけてーがん性疼痛への対応は十分に行われているかー	509
	小見 雄介 (前橋赤十字病院 かんわ支援チーム)	

PO110-7	倫理カンファレンスが看護師にもたらした影響 …………… 510 高田 寿美子 (三菱重工業株式会社 長崎造船所病院)
PO110-8	緩和ケア病棟新人看護師のやりがい …………… 510 宮内 優 (自治医科大学附属病院 看護部)
PO110-9	急性期病院看護師のがん看護における困難感～アンケート調査から見た現状と課題 (第一報) ～ …………… 510 菅原 幸恵 (大崎市民病院 看護部)
PO110-10	e-learningによる「緩和ケア概論」研修前後での看護師の緩和ケアに対するイメージの変容 …………… 510 鈴木 淳子 (静岡済生会総合病院 緩和ケアチーム)
PO110-11	がん性疼痛評価法の統一に向けて …………… 511 加藤 奈津子 (医療法人 光晴会病院)

**PO111
市民・患者への啓発、その他の教育・啓発・研究**

6月21日(土)14:30-15:30
ポスター会場2

座長：濱 卓至 (大阪府立病院機構 大阪府立成人病センター)

PO111-1	都道府県がん診療連携拠点病院における緩和ケア認定看護師の活動 —緩和ケアよろず相談・ミニ講習会開催の効果— …………… 511 高橋 里江 (がん・感染症センター都立駒込病院 看護部)
PO111-2	お寺でがんカフェ …………… 511 川上 貴子 (医療法人財団アカシア会アカシア訪問看護ステーション)
PO111-3	患者・一般市民を対象とした市民公開講座の開催と今後の課題 …………… 511 玉井 宏一 (愛媛県立中央病院 薬剤部)
PO111-4	高校生を対象としたがん教育出前講座の実践 …………… 512 儀賀 理暁 (埼玉医科大学 総合医療センター 緩和ケアチーム・呼吸器外科)
PO111-5	「緩和ケアってなあに？」で市民の認識は変わったか？～市民医療講座のアンケート調査より～ …………… 512 西原 彰浩 (箕面市立病院 緩和ケアチーム)
PO111-6	神戸市医師会が実施した市内医療機関の在宅医療実態調査 …………… 512 清水 政克 (医療法人社団倫生会 みどり病院)
PO111-7	神戸市医師会が実施した神戸市内の介護施設における終末期への取り組みに対するアンケートの結果報告 …… 512 森本 有里 (森本医院)
PO111-8	福岡県における単位型緩和ケア研修会の質の維持向上についての取り組み …………… 513 嶋本 正弥 (九州大学病院 がんセンター)
PO111-9	入院患者における医療用麻薬自己管理定着にむけた体制整備の取り組み …………… 513 近藤 恵子 (JCHO九州病院 がん診療連絡委員会)

**PO112
その他の教育・啓発・研究**

6月21日(土)14:30-15:30
ポスター会場2

座長：石原 辰彦 (岡山済生会総合病院)

PO112-1	在宅医療に関する医師の困難、負担感の実態調査・神戸市内の医師の調査報告 …………… 513 新城 拓也 (しんじょう医院)
PO112-2	造血幹細胞移植看護における看護師の感情労働の実態調査 —看護師の感情労働測定尺度 (Emotional Labor Inventory for Nurse : ELIN) による実態調査— …………… 513 松永 真実 (府中病院)
PO112-3	急性期病院・一般病棟における看護師のがん看護に対する困難感 …………… 514 稲田 泉 (社会医療法人財団大和会 東大和病院)
PO112-4	一般病棟看護師のがん看護に関する困難感と教育的課題 …………… 514 藤本 和美 (社会医療法人生長会ベルランド総合病院)
PO112-5	秋田県におけるELNEC-Jコアカリキュラム受講後の評価～終了3ヵ月後の質問紙調査からの検討～ …………… 514 高橋 加代子 (医療法人 惇慧会外旭川病院)

- PO112-6 実りあるデスカンファレンスは容易ではない:意識調査からの現状分析 514
 諸見里 祐美 (社会医療法人 友愛会 豊見城中央病院)
- PO112-7 緩和ケア研究に関する日本発の文献レビュー 515
 宮崎 貴久子 (京都大学大学院 医学研究科 健康情報学)
- PO112-8 遺族調査が遺族に与える負担と受益 515
 ☆ 竹内 真帆 (東北大学大学院 医学系研究科 緩和ケア看護学分野)

**PO113
 研究方法、評価尺度**

6月21日(土)14:30-15:30
 ポスター会場2

座長：宮下 光令 (東北大学大学院医学系研究科)

- PO113-1 肺がんを告知された患者・家族の本音 ~ Webにおける闘病ブログからの情報抽出~ 515
 荒牧 英治 (京都大学 学際融合教育研究推進センター)
- PO113-2 遺族によるがん患者の死亡前の症状の評価 515
 竹内 真帆 (東北大学大学院 医学系研究科 緩和ケア看護学分野)
- PO113-3 がん患者の遺族による緩和ケアの構造・プロセスの評価尺度Care Evaluation Scale ver2.0 の
 信頼性・妥当性の検討 516
 竹内 真帆 (東北大学大学院 医学系研究科 緩和ケア看護学分野)
- PO113-4 終末期がん患者に対するPalliative Care Outcome Scale(POS)の有用性に関する検討 516
 中島 信久 (東北大学大学院 外科病態学講座 緩和医療学分野)
- PO113-5 緩和ケア入院患者の予後：全身状態の評価尺度と当科で開発した評価法の有効性について 516
 吉田 祐一 (地方独立行政法人 さんむ医療センター 緩和医療チーム)
- PO113-6 緩和ケアの構造・プロセス、アウトカム評価における家族による代理評価の信頼性の検証に関する研究 516
 ☆ 佐竹 宣明 (東北大学大学院医学系研究科 医科学専攻 緩和医療学分野)